

一歩一歩。〈長崎大学と多様性 Vol.1〉 (2021 年 10 月 1 日)

おはようございます。

長崎大学人 河野茂です。

私は、最近、山登りをしています。山登りと言っても、登山というような大それたものではありません。長崎市内の小さな山へリュックを背負い自宅から歩いて登り、歩いて帰ってきます。稲佐山、岩屋山、金毘羅山、三ツ山などなど。心臓の手術後のリハビリを兼ねて始めましたが、凝り性な性格もあり、平日は毎日 10 キロ以上歩き、週末に山に登ります。今は楽しい趣味のひとつになりました。

右の足、左の足と一歩、一歩と足を進めてゆき、途中で休んだり、今日はきついから止めようかなあと思ったりしながら、気づいたら無心で淡々と数時間歩き、山頂に着くことがあります。もちろん、山頂から見渡す秋晴れの長崎港の眺めは素晴らしいものです。しかしながら、一歩一歩、足を交わして前に進む行為の中にこそ私自身は、喜びを感じています。炎天下の中、雨の中、風の中、歩くことがあります。そこまでして、何のために？と、人から言われることはありますが、歩くこと自体そのものが、私自身の学びであり鍛錬でもあり喜びでもあるようです。

『歩歩是道場』(ほほこれどうじょう)という言葉があります。日常生活、どんな場所でも学びの場である、という意味と私は理解しています。

私は、学生時代を含めると、約 50 年間、長崎大学で学ばせて頂きました。学生、研修医、医員、助手、講師、教授、医学部長、病院長、理事、学長と、一歩一歩それぞれの立場で学んできたように思います。最初は、自分のために歩み学び、次には、患者さんのため後輩のために歩み学び、医学部のため、病院のため、そして、大学全体のために、歩み学んでいます。

今日は、10 月 1 日。いよいよ、最後の 2 年となりました。
一日一日を大事に、長崎大学の学生や教職員のために、一歩一歩を確実に、長崎大学の未来のために、今日から歩んでゆきます。よろしくおねがいします。

追伸：今回は、山歩きのエピソードを踏まえながら、多様性等をテーマに数回にわたり発信してゆきたいと思います。皆さんからの、夢中になっている趣味に関するメール、多様性に関する仕事やプライベートでの取り組みの情報をお待ちしています。

お気軽にメールください。楽しみにしています。

長崎大学 学長 河野 茂